

2014年6月2日

緊急レポート!!

## 反クーデター集会について (6月2日)

インターリスクアジアタイランド

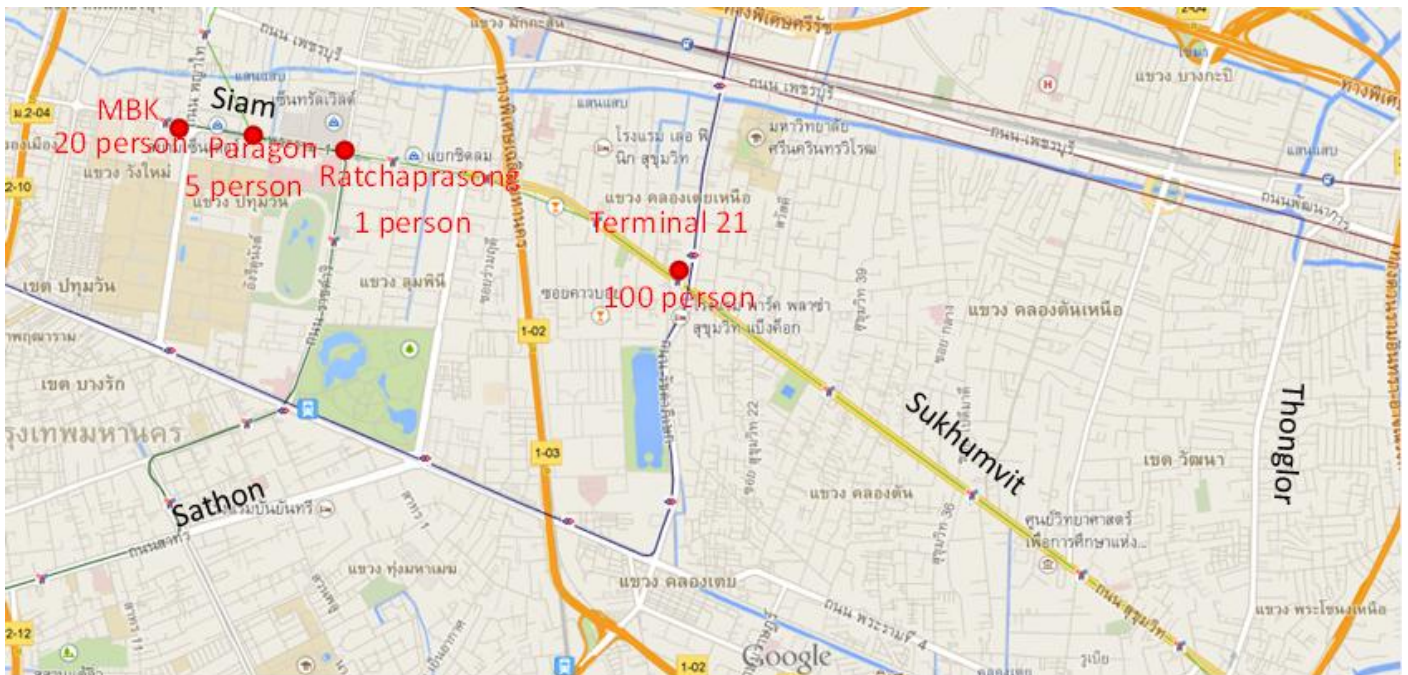
### はじめに

タイ軍部がクーデターを宣言して2週目の週末、6月1日にバンコク市内で反クーデターに関する集会が再度発生しました。先週に引き続いての発生となります。この集会に関する情報を取り纏めご案内致します。

### 反クーデター集会の発生場所

下記の地図上、BTS、Asoke 駅直結の Terminal21 ビル前で約 100 名、Ratchaprasong 交差点で 1 名、Paragon ビルで 5 名、そして MBK ビルで 20 名による反クーデター集会が実施されました。

日本を含む各国メディアでは、タイ各地でこの週末に反クーデター集会が実施されるとの予測のもと、軍が警戒をしている旨の報道がありましたが、幸い小規模な動きで収まったようです。



### 軍・警察による予告

5月31日、軍と警察は、Ratchaprasong 交差点にて6月1日に反クーデター集会が行われるため下記対応を行うと予告しました(当該予告の公表時間は不明、公表媒体はTV(Maneeya Center からの情報))。

- Chit lom 駅から Chaloem Phao 交差点までのスカイウォーク(歩道橋)を封鎖
- Chit lom 駅から Phloen Chit 駅および Ratchadamri 駅の運行を停止(駅を閉鎖)
- 6月1日 9:00 より下記道路を封鎖(内部侵入のみを禁止)
  - Phloen Chit 道路の Chit lom 交差点から Chaloem Phao 交差点の間
  - Ratchadamri 道路の AUA ビルと BigC の間

## 今後について(考察)

軍・警察の予告は Ratchaprasong 交差点に対する対応でしたが、実際はこの場所では 1 名のみが確認され、100 名を超える集会は Asoke で行われました。これは、軍・警察の警戒対策を知った集会の指導者側が場所を変更したことによる可能性があります。

軍および警察の予告は TV 等のニュース媒体で放送されたとのことです。Phloen Chit 駅近くの Maneeya Center ビルでは前頁の軍・警察の予告を記載した右記警告文を館内の顧客に配布しました。

また、Amarin Plaza も休館となっていたことを確認しています。つまり、集会が行われると予測された場所の周辺のビルでは事前対応が出来ていたことになり、タイ語のニュースが有効に機能していたこととなります。

しかし、タイ語が分からない人にとっては、土曜のタイ語のニュース媒体を理解することは困難と考えられ、今回の集会のことは認識せずに周辺に行ってしまった方もいるのではないのでしょうか。

集会は小規模になったとしても、暴力的事件発生の可能性は否定できません。万一、このような集会に遭遇した場合は即座にその場所から遠ざかるようお勧めします。

現在、軍隊は大きな権限を持っています。ご留意をお願い致します。

参考

集会に関する情報

<http://www.bangkokpost.com/news/politics/413002/protesters-rally-against-coup-with-three-finger-sign>

軍・警察の予告

<http://www.krobkruakao.com/%E0%B8%82%E0%B9%88%E0%B8%B2%E0%B8%A7%E0%B8%AA%E0%B8%B1%E0%B8%87%E0%B8%84%E0%B8%A1/94181/%E0%B8%9B%E0%B8%B4%E0%B8%94%E0%B8%88%E0%B8%A3%E0%B8%B2%E0%B8%A3%E0%B8%A3%E0%B8%AD%E0%B8%9A%E0%B8%A3%E0%B8%B2%E0%B8%8A%E0%B8%9B%E0%B8%A3%E0%B8%B0%E0%B8%AA%E0%B8%87%E0%B8%84%E0%B9%8C-%E0%B8%9E%E0%B8%A3%E0%B8%B8%E0%B9%88%E0%B8%87%E0%B8%99%E0%B8%B5%E0%B9%89--1-%E0%B8%A1%E0%B8%B4-%E0%B8%A2--57-.html>

<http://www.posttoday.com/%E0%B8%81%E0%B8%B2%E0%B8%A3%E0%B9%80%E0%B8%A1%E0%B8%B7%E0%B8%AD%E0%B8%87/297981/%E0%B8%84%E0%B8%AA%E0%B8%8A-%E0%B8%95%E0%B8%B1%E0%B9%89%E0%B8%87%E0%B8%88%E0%B8%B8%E0%B8%94%E0%B8%AA%E0%B8%81%E0%B8%B1%E0%B8%94-%E0%B8%9B%E0%B8%B4%E0%B8%94%E0%B8%88%E0%B8%A3%E0%B8%B2%E0%B8%88%E0%B8%A3%E0%B8%A3%E0%B8%AD%E0%B8%9A%E0%B8%A3%E0%B8%B2%E0%B8%8A%E0%B8%9B%E0%B8%A3%E0%B8%B0%E0%B8%AA%E0%B8%87%E0%B8%84%E0%B9%8C-1%E0%B8%A1%E0%B8%B4-%E0%B8%A2>

本レポートは、マスコミ報道など公開されている情報やインタビュー、現地調査等に基づいて作成しております。また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

以上

